

平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年6月7日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3419 URL http://www.artgreen.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926  
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第2四半期の業績(平成27年11月1日～平成28年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	869	—	28	—	17	—	9	—
27年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
28年10月期第2四半期	9	08	8	73				
27年10月期第2四半期	—	—	—	—				

- (注) 1. 平成27年10月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年10月期第2四半期の数値及び平成28年10月期第2四半期の前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社株式は、平成27年12月18日に名古屋証券取引所セントレックス市場に上場しております。平成28年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から平成28年10月期第2四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年10月期第2四半期	百万円 665	百万円 345	% 52.0
27年10月期	556	247	44.4

(参考) 自己資本 28年10月期第2四半期 345百万円 27年10月期 247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
27年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年10月期	—	0.00	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	1,760	4.4	75	27.7	70	22.1	47	4.1	43.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年10月期 2 Q	1,120,000株	27年10月期	890,000株
② 期末自己株式数	28年10月期 2 Q	—株	27年10月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年10月期 2 Q	1,055,953株	27年10月期 2 Q	890,000株

(注) 当社は、平成27年8月28日付で、普通株式1株につき400株の株式分割を行っております。平成27年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、当社は、前事業年度第2四半期会計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、経済政策等の効果もあり、雇用環境は緩やかな回復基調を維持しておりますが、中国及び新興国経済の減速や、個人消費に消極的な影響がみられるなど、マイナス要因も懸念されることから、景気の先行きは不透明な状況が継続すると考えております。

また、4月に発生した熊本を中心とした地震による被害が鉱工業生産や観光業をはじめ、農産業にも影響を及ぼし、早急なインフラ復旧や政府主導による支援策が期待されるものの、今後マイナス成長が続く可能性もあると懸念しております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、平成28年2月から4月までの蘭鉢取扱金額は1,339百万円、数量では425千鉢と、金額ベースでは微増、数量ベースでは微減したものの、いずれも大幅な増減はなく横ばいの傾向にあります。

このような事業環境の中、婚礼装花売上や葬儀の小型化に伴うフューネラル事業の売上高はいずれも減少いたしました。また、主力の胡蝶蘭は営業強化により新規顧客、既存顧客ともに売上は堅調に推移いたしました。また、新規株式公開に伴い、営業外費用として株式公開費用11,771千円が発生いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は869,673千円、営業利益28,269千円、経常利益17,011千円、四半期純利益9,588千円となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

#### (フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、異業種支援業務における既存取引先への販売強化として、引き続き各社オリジナルのフラワーギフトカタログ作製の提案強化に注力いたしました。

他方、婚礼装花売上は婚礼組数が伸び悩み減少いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は559,226千円となりました。

#### (ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き国内提携農園3社の生産指導強化を行い、品質（商品グレード）及び生産性の向上に重点を置き、経営支援強化に注力いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は225,495千円となりました。

#### (フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、引き続き既存取引先へ訪問し、現状と今後の市況について情報交換を行いながら、様々な要望に柔軟に対応していくことで、信用を深められるよう営業の強化に注力いたしました。

他方、ここ数年で葬儀のスタイル（価値観・ニーズ）に急激な変化がみられ、特に主要都市では葬儀の小型化により祭壇花も控え気味の傾向にあることから、単価の下落傾向が続いております。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は84,951千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期累計期間における流動資産合計は598,555千円となり、前事業年度末に比べ106,452千円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が85,196千円、仕掛品が20,628千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期累計期間における固定資産合計は66,543千円となり、前事業年度末に比べ1,741千円増加しました。この主な要因は、その他に含まれております保険積立金が1,797千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期累計期間における流動負債合計は228,052千円となり、前事業年度末に比べ9,276千円減少しました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が5,700千円増加した一方で、買掛金が10,420千円、その他に含まれております未払消費税等が6,664千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期累計期間における固定負債合計は91,142千円となり、前事業年度末に比べ19,085千円増加しました。この主な要因は、長期借入金が19,085千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期累計期間における純資産合計は345,903千円となり、前事業年度末に比べ98,385千円増加しました。この主な要因は、新規上場による公募増資や第三者割当増資を実施したこと等により資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ44,436千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度10月期の業績予想につきましては、平成28年6月6日に修正発表いたしました業績予想からは変更しておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	175,575	260,771
受取手形及び売掛金	202,405	207,834
商品及び製品	19,153	18,459
仕掛品	75,819	96,447
原材料及び貯蔵品	393	225
その他	21,272	17,650
貸倒引当金	△2,517	△2,834
流動資産合計	492,102	598,555
固定資産		
有形固定資産	8,716	8,921
無形固定資産	3,217	3,208
投資その他の資産		
その他	85,238	83,756
貸倒引当金	△32,370	△29,342
投資その他の資産合計	52,868	54,413
固定資産合計	64,802	66,543
資産合計	556,904	665,098



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	70,313	59,893
1年内返済予定の長期借入金	86,838	92,538
未払法人税等	7,516	9,541
賞与引当金	10,845	13,351
その他	61,815	52,727
流動負債合計	237,328	228,052
固定負債		
長期借入金	71,917	91,002
その他	140	140
固定負債合計	72,057	91,142
<b>負債合計</b>	<b>309,386</b>	<b>319,195</b>
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,675	139,111
資本剰余金	44,787	89,223
利益剰余金	107,364	116,953
株主資本合計	246,827	345,287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	690	615
評価・換算差額等合計	690	615
<b>純資産合計</b>	<b>247,518</b>	<b>345,903</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>556,904</b>	<b>665,098</b>

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	869,673
売上原価	543,367
売上総利益	326,306
販売費及び一般管理費	298,037
営業利益	28,269
営業外収益	
受取利息	91
受取配当金	45
保険解約返戻金	1,349
その他	573
営業外収益合計	2,060
営業外費用	
支払利息	690
株式公開費用	11,771
その他	856
営業外費用合計	13,318
経常利益	17,011
税引前四半期純利益	17,011
法人税、住民税及び事業税	7,973
法人税等調整額	△549
法人税等合計	7,423
四半期純利益	9,588

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	17,011
減価償却費	1,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,711
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,506
受取利息	△91
受取配当金	△45
支払利息	690
株式公開費用	11,771
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,920
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,420
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,173
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,835
その他	△1,044
小計	△5,775
利息及び配当金の受取額	227
利息の支払額	△552
法人税等の支払額	△7,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,491
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△100,029
定期預金の払戻による収入	97,422
有形固定資産の取得による支出	△1,100
無形固定資産の取得による支出	△350
保険積立金の積立による支出	△1,797
保険積立金の解約による収入	1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,504
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	76,400
長期借入れによる収入	70,000
長期借入金の返済による支出	△45,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,189
現金及び現金同等物の期首残高	52,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,248

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月18日付で名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場し、平成27年12月17日を払込期日として、一般募集（ブックビルディングにより募集）による新株式200,000株の発行を行いました。また、平成28年1月22日を払込期日として、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式30,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,436千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が139,111千円、資本準備金が44,436千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。